

# 週刊大貫のり夫

## 市政ファイル No.313



日本共産党横浜市会議員大貫のり夫議会報告

発行日：2011年10月12日(水)

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6

### 2010年度横浜市決算特別委員会

## 石油コンビナート事故に備え万全の対策を

東日本大震災における気仙沼市や千葉県・市原市での石油タンク火災は、石油コンビナート事故の大変さを再認識させられるものでした。

横浜市には、大正末期から平成



2年まで埋め立てられた京浜臨海地区と昭和38年から48年にかけて埋め立てられた根岸臨海地区に石油コンビナートがあり、両地区合わせて、面積17.27平方キロメートル、29の特定事業所、751基の屋外タンクがあります。

2010年度決算特別委員会消防局審査で5日、私・大貫憲夫は石油コンビナート地域の災害対策について質問しました。

私・大貫は、東日本大震災での気仙沼における石油タンク火災などの例をあげ、横浜の臨海部の石油コンビナートが今回のような大震災にあった時の影響をただしました。(2面に続く)

## 石油コンビナートの液状化調査を

(1面より)

消防局長は横浜でも東日本大震災と同様な被害が生ずることが予想され、現有の消防力ではかなり切迫して厳しいと答弁しました。

私・大貫は、根岸の石油コンビナートと住宅地が110メートルしか離れていないことや、市原市のコスモ石油の火災では幅40センチの長さ180センチ、こういった金属片が6キロに及んでこう飛んだことなどを紹介し、石油コンビ

ナート災害の危険性を強調しました。

石油コンビナートの規制については、総務省、経済産業省、厚生労働省にまたがっており、県と市の管轄も複雑に分かれています。私・大貫は、いざという時に対応できるような一元化が必要であり、横浜市として国や県に要望するよう求めました。

また、私・大貫は、現在22.4%しか耐震化が進んでいない浮き屋根式石油タンクの耐震化を前倒

して進めるよう、事業者を指導することを要求。川崎市が川崎臨海部の民間企業117社に液状化現象の実態やその対策についてアンケート調査を行ったことをあげ、横浜市としても調査するよう求めました。

消防局長は、液状化実態調査について「実施に向けて検討していきたい」と答弁。大場茂美副市長は「ご意見を踏まえながら、出来ることを一步一步進めていきたい」と答えました。



炎を上げて燃える「コスモ石油千葉製油所」＝11日午後5時36分、千葉県市原市、朝日新聞社ヘリから、矢木隆晴撮 (asahi.comより)



シリーズ『あおば子育て事情』(95)

## 学童疎開の跡

江口 寛

「下の妹は、校舎の壁に寄り掛かって梅干しのたねをしゃぶっていたが、姉の姿を見ると、たねをぺっと吐き出して泣いた」（「字のないはがき」中学国語2年・光村図書）。

授業を終えた若い先生は、「疎開のつらさ、いや、疎開そのものを、うまく伝えられなかった」と、言う。両親が戦後世代の若い教師が、更に若い子どもたちに、戦争体験を伝承する時代になったと改めて思った。

先日、センター南駅に近い正覚寺を訪れた。ここは、戦争末期、子安国民学校の児童が集団疎開した所。記念碑『心のふる里ここにありき』（昭和48年12月建立）があり、疎開児童用に掘った古井



戸が今も残り、崩れ落ちた防空壕跡には『隠れ宿ここにありき』の碑（平成3年8月建立）も建っている。

体験記によると、「早湊川の堤防を、橋の数をかぞえながら歩いて、八つめの橋が勝田橋、その右手の田畑の向こうに正覚寺の森が見えた。・・・はじめのころは、それぞれ環境の違う生徒が集団で寝起きするため、いじめやなぐりあいなどが起きた。あたりが暗くなり、静けさだけが増して来る夜は、耐えられない寂しさで、輝く星空を見上げてどうしようもない気持ちに陥った。」

「先生、食事のおばさん二人、私達生徒で食事から食糧の買い出し、山から薪になる木を背負っての生活は今思えば本当に大変でした。・・・疎開してからみんな夜になると、星を見ては泣いていました。」と、あった。

**無料法律相談**

毎月第一、第三木曜日

時間午後7時より

場所：桜台大貫事務所

協力：東京合同法律事務所

予約制／1人30分

申し込み TEL 981-4805

何でもお気軽に  
ご相談ください

# 原発ノ一放射能汚染を考える集いに96名参加

青葉区の党と後援会主催の「原発ノ一放射能汚染を考える集い」が9日、青葉公会堂会議室で行われ、96名が参加しました。

旧通産省で原発立地センター企画部長をされていた八木功さん（右の写真）からは、原発の危険性



や電源3法交付金による地元対策、放射能汚染と健康問題などが話され、田村智子参議院議員（左の写真）は、野田政権や自民、公明等各党の原発問題に対するごまかしと原発延命させようとする態度を紹介。また、原発のストレステストが新

たな「安全神話」をつくりだしている」と批判。原発からの撤退の一点で共同を広げようと訴えました。

お二人の話の後に、会場からの様々な質問を受けました。

右の写真は司会を務めた私です。



ミジンコの独り言 ハッピーマンデーが採用され、10月第2月曜日が「体育の日」になって11年。この間10日と重なったのは2005年と今年の2回。この日が晴れの日が圧倒的に多い「特異日」だったことから東京オリンピックの開催日となったといわれているが、実は10月の特異日は14日とか。秋の青空は澄み切って気持ちがいい。(M)